（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　コモンハウス			
○保護者評価実施期間	R7年1月14日		～	R7年2月7日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32名	（回答者数）	19名
○従業者評価実施期間	R7年1月14日		～	R7年1月24日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4名	（回答者数）	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	午前中からの利用が可能であり、学校に行けない児童などの利用ができる。	不登校の児童に対して学校と連携し、登校扱いに出来るよう働きかけている。	更に学校と連携し不登校の児童に対してケース会議なども検討していく。
2	クッキングやショッピングなどプログラム活動の中で社会性（役割を持って実施する、買い物の仕方など）を楽しみながら実践形式で学ぶことができる。	助言や見守りなどは行うが、自主性を重視して自分で出来る事は自分で行っている。（金銭の支払いなど）	作りたい物や買い物先を児童たちに決めてもらうなど計画の段階から参加してもらう。
3	共生型施設である為、高齢者との交流や就労継続支援B型事業所もあり、高校卒業後の受け入れ先も検討できる場がある。	高齢者デイサービスと連携し年間行事に参加している。（夏祭り、ハロウィン、クリスマス、餅つきなど）	就労に関しては、現在の所実績がない為、今後は卒業後の支援として実績をあげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在は運動のみ外部講師を招き専門的なプログラムを行っているが、専門的なプログラムを取り入れ更なるプログラムの充実が必要だと思われる。	外部講師を招く場合はコスト面での問題があり、人員配置も検討が必要。	ボランティアでの外部講師の受け入れや人員配置の工夫を行っていく。
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　コモンハウス

公表日 年月日
利用児童数
32名 R7年2月1日　　回収数 19名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				広く見渡せる空間が良い。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		5	もう少し職員が多ければよいと思う。	職員数は各間仕切り毎に配置できているが、今後の利用人数により職員配置の見直しを行う必要を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	1	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	19					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	5	4	4	上階との交流はとても良い。	今後も共生型施設の特性を活かし交流を行う。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	2		1	事前に打ち合わせをして頂いた。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	2	12		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	1	1	連絡は密に頂いている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	5	2	4		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16		1	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	9	6		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	2	3	個別に連絡帳もしくはLINEなどで利用時の様子を報告して頂けると嬉しい。	個別の連絡方法を検討する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15		1	3	ほぼ毎日SNS更新されている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2		12		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	14	1	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18			1	送迎もあり安心です。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		2	本人は日々楽しく通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2		1	大変満足しています。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　コモンハウス

公表日　R7年　月　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		十分な運動スペースや間仕切りしクールダウンを行えるスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		各スペースに職員が配置できるようになっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		トイレ、廊下などあらゆる場所はバリアフリーとなっており、適切な配慮ができている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃を行っており、清潔を保持できている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		気持ちを落ち着ける場所を用意し状況を応じて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		ミーティングの際に業務内容について、社長などの意見も反映し業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		アセスメントを行う段階で事業所への要望も聞き取りを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング以外にもLINE7などのツールを使用し意見の把握に努め、対応策などを検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	現在の所、第三者による評価はおこなっていない。	次年度については検討すしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部講師を招き発達障害の研修を隔月で実施しており、法人内研修も毎月実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		来年度までには公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保健調査票やアセスメントシートなどで保護者のニーズを把握し、個別計画書に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		現場の職員も含め、実際に必要な情報を共有し検討をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	4		計画の共有を行い支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	標準化ツールを使用できていないが、日々の行動観察は行っている。	標準化したツールを使用し、アセスメントが行えるようにする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		各支援項目を個別支援計画書記載し支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で話し合いながらプログラムの内容やバランスを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		外部講師を招いての運動プログラム以外は固定化しないように毎月変更している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		基本は集団とし個別の対応についても記載し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		打ち合わせや当日の利用人数変更などはLINEを使用し共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4		当日の気になる点などは情報共有し、次回の支援に活かしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の本人の状況や支援内容を記録し改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングを実施し、内容の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		社会性を身に付けるための外出や多様な体験など4つの活動を意識したプログラム活動を計画している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	本人の意見を反映し、活動に参加できるような声かけを行っている。	自己表現が難しい児童に対してどのように自己決定を促していくかを検討する必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		事前に本人の様子などについて職員の意見を集約し参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	同学区内の小学校や障害者基幹相談支援センターと連携を取っている。	地域に医療機関と必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		月の行事予定表などの情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4	現在の所、該当する児童は無し。	来年度から新1年生になる児童の利用希望があるため、情報共有を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	今年度末該当児童がいるため、連携を図っていく。	計画的に情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		4	現在の所実績なし。	発達障害の研修は外部講師を招いて実施。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		近隣公園で地域の子ども達と交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		可能な限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	送迎時やLINEなどのツールを使用して情報の共有を行っている。	職員間で伝える内容を標準化して、どの職員でも必要な状況や情報を伝えれるようにする。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	今年度実施していない。	ニーズの把握をしながら内容を把握し実施していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		事前に本人と家族の意向を伺っており、変更の際にも意向確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4		説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて家族との話し合いの機会を設けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	今年度実績なし。	家族交流会を計画実施していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情窓口を設置し対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		インスタグラムや月の実施状況を保護者に渡している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		契約書明記し保護者へ説明。SNSへの登校など取り扱いについて留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		手話やジェスチャーなど分かりやすコミュニケーション方法で情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	今年度実施無し。	地域と交流できる機会を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアル作成し訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		マニュアル作成し訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保健調査票にて児童の健康状態を把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	保護者から直接確認を行っているが、指示書の確認はできていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		法人内研修を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4		緊急連絡先を把握し有事の際に連携がとれる状態に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		報告書を作成し、情報共有を行えるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		事業所内や外部研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1		現在、身体拘束に該当する児童無し。	必要に応じて委員会で検討していく。